

MULTIBEAR

マルチベアー

荷物用エレベーター / 人荷用エレベーター



Factory / Warehouse

Welfare facility

AMR / AGV



マルチベアーは

標準品以外のサイズ・仕様等

規格外のご要望にも

柔軟に対応します

安心・信頼の
エレベーター
設計／製造／販売
メンテナンスサービス
一貫体制



クマリフトの荷物用・人荷用エレベーターは、
建築側の制約やご使用目的に最適な提案で
現場のニーズに柔軟にお応えします。
さらに、カラーバリエーションやオプション用品など、
意匠面・機能面の細かなカスタマイズ性も充実させ、
お客様の声をカタチにします。
エレベーターだけではなく、その周辺までを考え、
より安全・より快適な作業環境を実現します。

Index

セレクションガイド

- 03 - 04 / クマリフトのご提案事例①【工場・倉庫向け仕様例】
- 05 - 06 / クマリフトのご提案事例②【工場・倉庫向け仕様例】
- 07 - 08 / クマリフトのご提案事例③【福祉施設向けEV仕様例】
- 09 - 10 / クマリフトのご提案事例④【AMR/AGV向け仕様例】

エレベーター設置計画時のご留意ポイント

- 11 - 12 / 設置計画時のご留意ポイント
- 13 - 14 / 設置計画時のその他注意事項

製品情報

- 15 - 16 / 選べるドア方式と特徴
- 17 - 18 / マルチベアー製品特徴/仕様

図面関連

- 19 - 20 / 【2t以下】荷物用/人荷用エレベーター据付図
- 21 - 22 / 【2t超】荷物用エレベーター据付図
- 23 - 24 / (2枚戸片開き)出入口詳細図・据付図
- 25 - 26 / (3枚戸片開き)出入口詳細図・据付図
- 27 - 28 / 電気設備系統図/工事区分
- 29 - 30 / サービス体制・保証/サービスネットワーク

クマリフトのご提案事例①【工場・倉庫向け仕様例】

フォークリフトを使用し 前輪をエレベーターに乗り込んで 荷物の積み降ろしを計画される場合

エレベーターにフォークリフトで荷物の積み降ろしを想定される場合、その多くはかご床にフォークリフトの前輪が乗り込むことを想定し、停止時のかご床に加わる質量を、積載量の150%を上限に設計している仕様が多く採用されます(下表Class C2)。その場合、積載量の150%が停止中最大荷扱い質量となります。



【ローディング一覧表】※本カタログでフォークリフト仕様と表記しているのはClass C2です。			
Class A	1個の荷物が積載量1/4以下のバラ積み250kg/m ² にて計算します。	Class C1	フォークリフト等により荷物を搬入し、フォークリフトと一緒に運搬する場合。
Class B	自動車専用150kg/m ² にて計算します。	Class C2	フォークリフトの乗り込みはあるが、荷物の搬出入時のみで、一緒に運搬しない場合。
		Class C3	C1、C2以外で集中荷重が積載量の1/4以上と大きい場合。

出典：ASME A17.1

仕様例

マルチベアー荷物用エレベーター

型式：MLFLe-3000
積載量：3,000kg
速度：30m/min

<かご内寸法>
間口 2800mm×奥行 3700mm
<出入口寸法>
幅 2800mm×高さ 2500mm

弊社ホームページより、詳しい情報をご覧いただけます。



クマリフト マルチベアー 検索

https://www.kumalift.co.jp/mb/proposal-factory01.html

【ローディング一覧表】のC2ローディングの場合

■停止時最大荷扱い質量を計算しましょう。

例えば…

$$\begin{array}{c}
 \text{荷物} \\
 (500\text{kg} \times \text{max}4\text{個})
 \end{array}
 +
 \begin{array}{c}
 \text{フォークリフト自重} \\
 (2,500\text{kg})
 \end{array}
 =
 \begin{array}{c}
 4,500\text{kg} \\
 \parallel \\
 \text{積載量の150\%} \\
 (\text{停止時})
 \end{array}$$

詳細は営業担当にお問合せください。

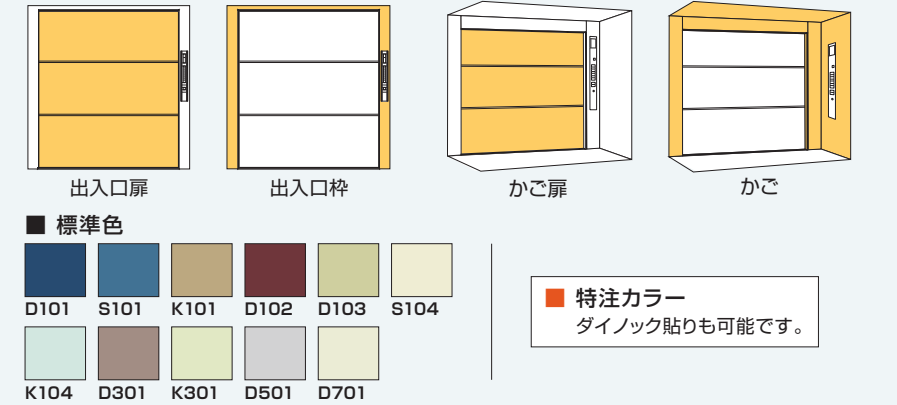
■フォークリフトの仕様を チェックしておきましょう。

- ☐ 自重 (EVの積載量に影響)
- ☐ マスト最大高さ (かご高さに影響)
- ☐ ご利用のパレットサイズ (かごサイズに影響)
- ☐ フォークリフトの運転席座面高さ

■は標準仕様となります。■はオプションとなります。■は建築側手配・工品となります。

A [カラーリング] 施設内装標準色合わせも可能

カラーバリエーション ご要望に合わせて施設カラー、ファクトリーカラーと近似色のカラーリングも可能。空間デザインに配慮します。



B [かご床意匠] 縞鋼板



負荷のかかるかご床には、高い強度を持つ縞鋼板が標準となります。縞模様のような突起は滑り止めになります。

C 荷ずり(ステンレス)



パレットや荷物の摺れなどから、かご内壁面を保護します。設置高はお打合せの上、適切な高さに設置します。※かご保護幕との併用はできません。

D マルチビームセンサー E 乗場ビームセンサー



マルチビームセンサーは、非接触で人やフォークリフトの出入りを検出し荷役中の戸閉を防止します。戸閉途中に予期せず人やフォークリフトが検出された場合も、反転戸開します。もっと手前(外部側)で検知したい場合はE乗場ビームセンサーがオプションで追加できます。

※検知できる最小検出物体限度があり、大きさにより検出できない場合があります。また、透明な物(ガラス等)は検知不可です。

F [安全確認設備]

かご内安全確認ミラー



死角になるフォークリフトの積み荷の向こう側を確認しながら、安全に積み込みが可能。フォークの衝突を防ぐことができます。

E 衝突防止安全ポール



フォークリフトやトラックなどがエレベーターに損傷を与えるのを防止する必要があります。建築側手配・設置工事となりますが、設置計画をお勧めします。

G 操作盤

文字が見やすい、押しやすい操作盤



■行先階キャンセル機能

登録されている行先階のボタンを2度押すと、その登録を取り消すことができます。誤って登録した場合でも、取り消しをすることで新たな登録ができるようになります。これにより、無駄な運転・時間をなくして業務効率をアップします。

■呼び予約・予約キャンセル機能 ※荷物用のみの機能となります。

エレベーターが使用中の場合でも、乗場で呼びボタンを2秒以上長押しすると予約登録ができます。現在のエレベーターサービスが終了すると、かごが予約された階へと移動します。呼び予約は呼びボタンを2秒以上長押しすれば予約解除可能です。

■乗場戸閉ボタンメモリー機能 ※荷物用のみの機能となります。

戸開動作中に乗場戸閉ボタンを押すと、押されたことを記憶して、全戸開後ただちに戸閉動作を行い、運転効率をアップします。

■戸開3分間タイマー機能

戸を3分間開放し続ける機能。作業効率を高めます。

H (特殊仕様) 乗場リモコン

フォークリフトに乗ったまま、かご呼びが可能になります。弊社営業担当にお問合せください。(適用できない場合もあります)

クマリフトのご提案事例②【工場・倉庫向け仕様例】

大型カゴ台車を複数台同時積載仕様も可能

カゴ台車も工場や事業所、製品、運搬物によりサイズがまちまちです。ユーザー様がご使用になるカゴ台車サイズを効率よく複数台積載可能なかごサイズでカスタマイズ可能です。お客様にジャストフィットな設計で作業効率アップのご提案が可能です。



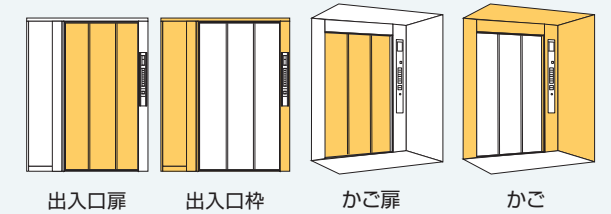
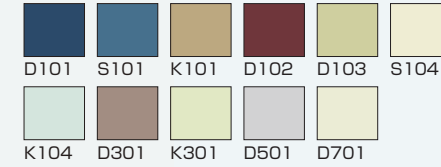
■は標準仕様となります。■はオプションとなります。

A [カラーリング]施設内装標準色合わせも可能

カラーバリエーション

ご希望に合わせて施設カラー、ファクトリーカラーと近似色のカラーリングも可能。空間デザインに配慮します。

■標準色

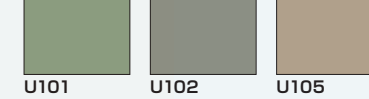


■特注カラー ダイノック貼りも可能です。

B [かご床意匠]Pタイル

カゴ台車使用の場合、スムーズに移動が可能なPタイルをお勧めします。かご昇降中のカゴ台車の移動が気になる場合は、縞鋼板をお勧めします。

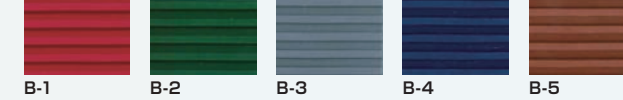
■Pタイルカラーバリエーション



■縞鋼板



■B山ゴムマット



C マルチビームセンサー

C 乗場ビームセンサー

マルチビームセンサーは、非接触で人やカゴ台車の出入りを検出し、荷役中の戸閉を防止します。戸閉途中に予期せず人やカゴ台車が検出された場合も、反転戸開します。もっと手前(外部側)で検知したい場合は、乗場ビームセンサーがオプションで追加できます。

※検知できる最小検出物体限度があり、大きさにより検出できない場合があります。また、透明な物(ガラス等)は検知不可です。

D [安全確認設備]かご内安全確認ミラー



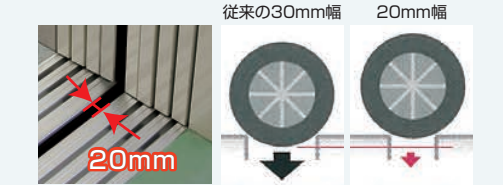
死角になるカゴ台車の向こう側を確認しながら、安全に積み込みが可能です。

E 荷すり(ステンレス)



カゴ台車のぶつかりからかご内壁面を保護します。設置高はお打合せの上、適切な高さに設置します。※かご保護幕との併用はできません。

F 敷居隙間



ご使用のカゴ台車のタイヤが落ち込みにくい20mm仕様。

G 操作盤

文字が見やすい、押しやすい操作盤

■行先階キャンセル機能

登録されている行先階のボタンを2度押すと、その登録を取り消すことができます。誤って登録した場合でも、取り消しをすることで新たな登録ができるようになります。これにより、無駄な運転・時間をなくして業務効率をアップします。

■呼び予約・予約キャンセル機能

エレベーターが使用中の場合でも、乗場で呼びボタンを2秒以上長押しすると予約登録ができます。現在のエレベーターサービスが終了すると、かごが予約された階へと移動します。呼び予約は呼びボタンを2秒以上長押しすれば予約解除可能です。

■乗場戸閉ボタンメモリー機能

戸開動作中に乗場戸閉ボタンを押すと、押されたことを記憶して全戸開状態後ただちに戸閉動作を行い、運転効率をアップします。

■戸開3分間タイマー機能

戸を3分間開放し続ける機能。作業効率を高めます。

■かご保護幕

大型カゴ台車等がかご内壁を傷つけるリスクを軽減します。かご保護幕は取り外し可能。取り換えることでかご内を綺麗に保つことができます。

※荷すりとの併用はできません。

SCシリーズ



Mシリーズ



TIIシリーズ



仕様例

マルチベアー荷物用エレベーター

型式：MLFLe-2000
積載量：2,000kg
速度：30m/min、45m/min、60m/min

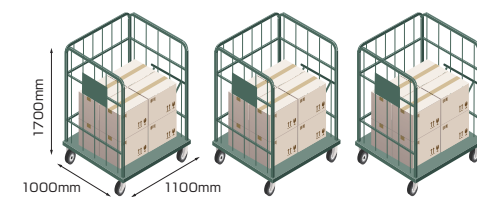
<かご内寸法>
間口 2300mm×奥行 3400mm
<出入口寸法>
幅 2300mm×高さ 2300mm

■遮煙戸仕様もご用意できます。

エレベーター仕様検討の前に...

■積載量を計算しましょう。

主な運搬物:大型カゴ台車



カゴ台車 (自重100kg) + 荷物 (500kg) × 3台 = 1,800kg

荷扱い者×1名 (65kg)

弊社ホームページより、詳しい情報をご覧ください。



クマリフト マルチベアー 検索

PCから <https://www.kumalift.co.jp/mb/proposal-factory02.html>

クマリフトのご提案事例③【福祉施設向け仕様例】

配膳車と人が複数名 同時に乗れて、スムーズに食事を届けられます

近年、都市部でのニーズも増加し多層階化する福祉施設。ご利用者数の増加により、食事やリネンの運搬をより効果的に行う必要があります。また、小規模施設では荷物の運搬だけではなく、車いすの方の移動手段も兼ねる必要があります。あらゆる施設の状況にきめ細やかに対応可能なマルチベアー。是非、お問合せください。



仕様例

マルチベアー人荷用エレベーター

型式：MSPLe-750
定員：10人(荷物無しの場合)
積載量：750kg
速度：30m/min、45m/min、60m/min
＜かご内寸法＞ 間口1200mm×奥行1000mm 幅900mm×高さ2100mm
＜出入口寸法＞

■ 車いす仕様・視覚障がい者対応仕様は別途お問合せください。
■ 遮煙戸仕様もご用意できます。

弊社ホームページより、詳しい情報をご覧ください。



クマリフト マルチベアー 検索



https://www.kumalift.co.jp/mb/proposal-welfare.html

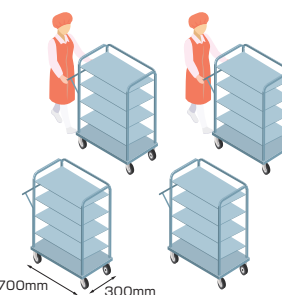
エレベーター仕様検討の前に…

■ 積載量を計算しましょう。

主な運搬物: 大型配膳車



大型配膳車+食事 (300kg)×2台 + 乗員 (65kg)×2名



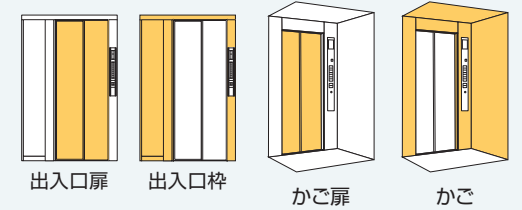
従来の配膳ラック (150kg)×4台 + 乗員 (65kg)×2名

■ は標準仕様となります。■ はオプションとなります。

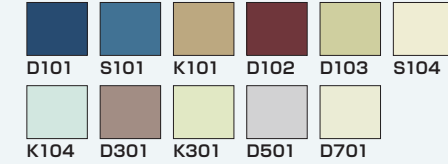
A [カラーリング] 施設内装標準色合わせも可能

カラーバリエーション

ご要望に合わせて施設カラー、ファクトリーカラーと近似色のカラーリングも可能。空間デザインに配慮します。



■ 標準色



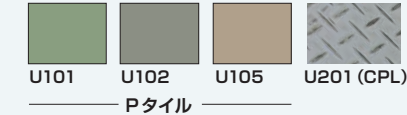
■ 特注カラー

ダイノックシート貼りも可能です。

B [かご床意匠] Pタイル

かご床は配膳車がスムーズに移動可能なPタイルをお勧めします。かご昇降中の配膳車の移動が気になる場合は、縞鋼板をお勧めします。

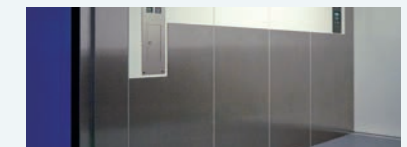
■ Pタイルカラーバリエーション



■ 縞鋼板



D 荷すり(ステンレス)



配膳車などから、かご内壁面を保護します。設置高はお打合せの上、適切な高さに設置します。 ※かご保護幕との併用はできません。

F [かご内換気扇(排気用・吸気用)]

かご内の換気用として「排気用」と「吸気用」の2種類をご用意しております。用途に応じてお選びいただけます。(いずれもかご天井に設置)



G 敷居隙間



配膳車のタイヤが落ち込みにくい敷居隙間20mm仕様。配膳車をスムーズに出し入れできます。

H 操作盤

文字が見やすい、押しやすい操作盤

■ 行先階キャンセル機能

登録されている行先階のボタンを2度押しと、その登録を取り消すことができます。誤って登録した場合でも、取り消しをすることで新たな登録ができるようになります。これにより、無駄な運転・時間をなくして業務効率をアップします。

■ 戸開3分間タイマー機能

戸を3分間開放し続ける機能。作業効率を高めます。

■ かご保護幕

大型配膳車がかご内壁を傷つけるリスクを軽減します。かご保護幕は取り外し可能。取り換えることでかご内を綺麗に保つことができます。 ※荷すりとの併用はできません。

クマリフトのご提案事例④【AMR／AGV向け仕様例】

ロボットにもやさしく、 省人・省力化の次世代物流をサポート

近年、急速に普及しているAMRと従来型AGV。

無人だから、荷物用に特化した耐久性と堅牢性が不可欠です。是非、クマリフトにご相談ください。

※AMR／AGVの選定とEV機種選定前の情報提供をお願いいたします。
※エレベーターとの通信手段等AMR／AGVメーカー様とのお打合せが必要となります。
※AMR／AGVの要求仕様により対応できない場合もございます。



**AMR／AGVとはWi-Fiなどの通信仕様に合わせて
かごを呼び・戸開などの動作を行います。**

AMR、AGVの仕様によっては通信できない場合があります。
弊社営業に事前にご相談ください。

仕様例

マルチベアー 荷物用エレベーター

型式：MLFLe-2000
積載量：2,000kg
速度：30m/min、45m/min、60m/min

<かご内寸法>
間口 2300mm×奥行 3400mm
<出入口寸法>
幅 2300mm×高さ 2300mm

遮煙戸仕様も
ご用意できます。

弊社ホームページより、詳しい情報をご覧ください。



クマリフト マルチベアー 検索

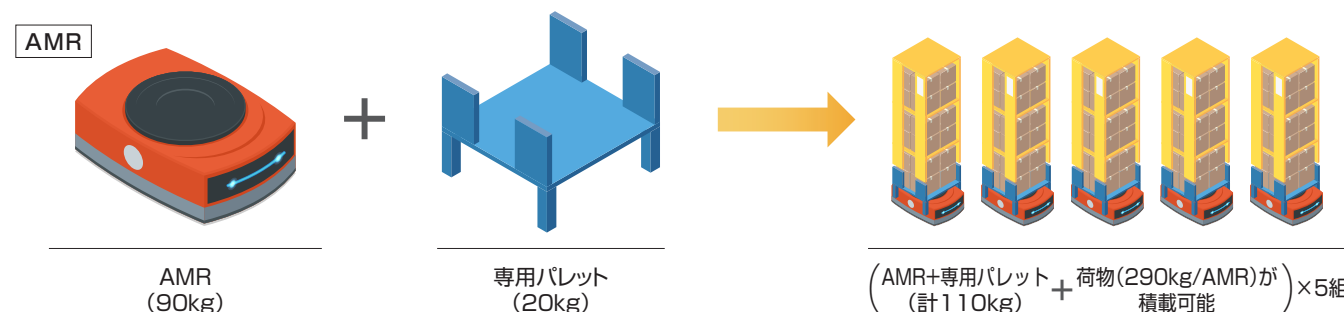


<https://www.kumalift.co.jp/mb/proposal-amr.html>

エレベーター仕様検討の前に…

■積載量を計算しましょう。

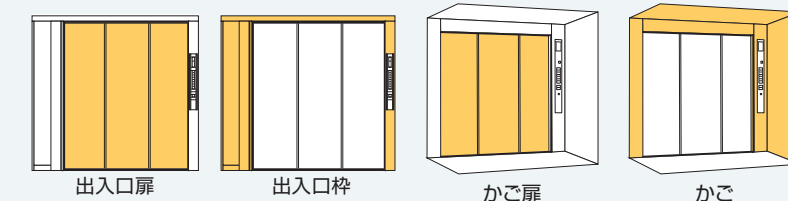
主な運搬物:AMR+専用パレット



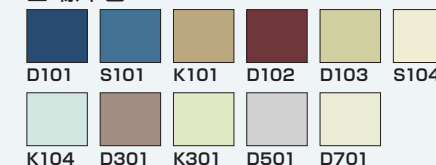
■は標準仕様となります。■はオプションとなります。

A [カラーリング]施設内装標準色合わせも可能

カラーバリエーション ご要望に合わせて施設カラー、ファクトリーカラーと近似色のカラーリングも可能。空間デザインに配慮します。



■ 標準色



■ 特注カラー

ダイノック貼りも可能です。

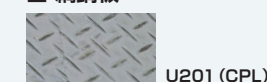
B [かご床意匠]Pタイル仕様

かご床はAMR／AGVがスムーズに移動可能なPタイルをお勧めします。昇降中のAMR／AGVの移動や滑りが気になる場合は、縞鋼板をお勧めします。

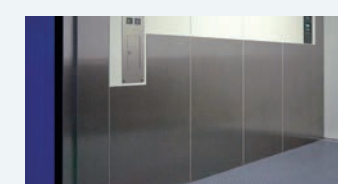
■ Pタイルカラーバリエーション



■ 縞鋼板



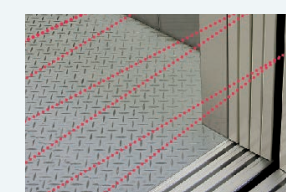
C 荷ずり(ステンレス)



AMR／AGV、荷物からかご内壁面を保護します。設置高はお打合せの上、適切な高さに設置します。

※かご保護幕との併用はできません。

D マルチビームセンサー



D 乗場ビームセンサー

ドアにAMRや荷物が挟まれてしまうといった危険がないよう、マルチビームセンサーにて反転戸開する機能です。もっと手前(外部側)で検知したい場合は■乗場ビームセンサーがオプションで追加できます。

※検知できる最小検出物体限度があり、大きさにより検出できない場合があります。また、透明な物(ガラス等)は検知不可です。

E 敷居隙間



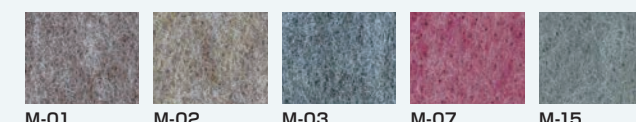
敷居隙間は20mmとなります。ご使用のAMR／AGVの仕様をご確認ください。

■ かご保護幕

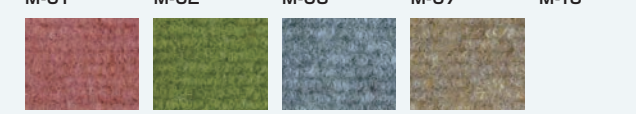
AMR／AGVがかご内壁を傷つけるリスクを軽減します。かご保護幕は取り外し可能。取り換えることでかご内を綺麗に保つことができます。

※荷ずりとの併用はできません。

Mシリーズ ▶



SCシリーズ ▶



TIIシリーズ ▶



荷物用／人荷用 マシンルームレスエレベーター 設置計画時のご留意ポイント

MULTIBEAR / ELEVATOR for FREIGHTS



建築基準法施行令を遵守願います。
(建築基準法施行令 第5章の4 第2節)

A 昇降路防火区画

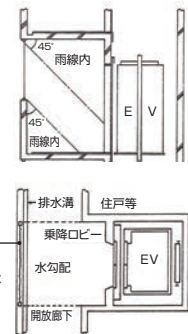
エレベーター昇降路に**防火区画**が要求される場合(建築基準法施行令第112条)、昇降路に堅穴区画が求められる場合は、乗場開口部に**遮煙性能を有する防火設備**が必要です。また、マルチベアー乗場戸自体に遮煙性能を持たせたオプションもございます。詳細は弊社担当者までご相談ください。

B 三方枠と上階敷居受

エレベーターの計画にあたり、**階高によって、敷居やヘッダーなどの乗場機器が取り付けられない**ことがあります。最小階高については、カタログの寸法表をご参照の上、弊社担当者までご相談ください。

C 乗場【雨水／雪、防錆対策等】

乗場が**半屋外等に面する場合**は、右図に準じた雨水対策を計画してください。(設計施工上の指導指針) 積雪地域、沿岸地域、取扱い品目(塩分、酸など)、日当たり、腐食性ガス、粉塵などの状況により建築側での対策が必要となります。設置環境によってはエレベーターの故障に繋がります。据付着工時までの処置事項と工事区分(28ページ)についてもあわせてご確認ください。また、その他特殊な環境でエレベーターを計画する際は、別途ご相談ください。

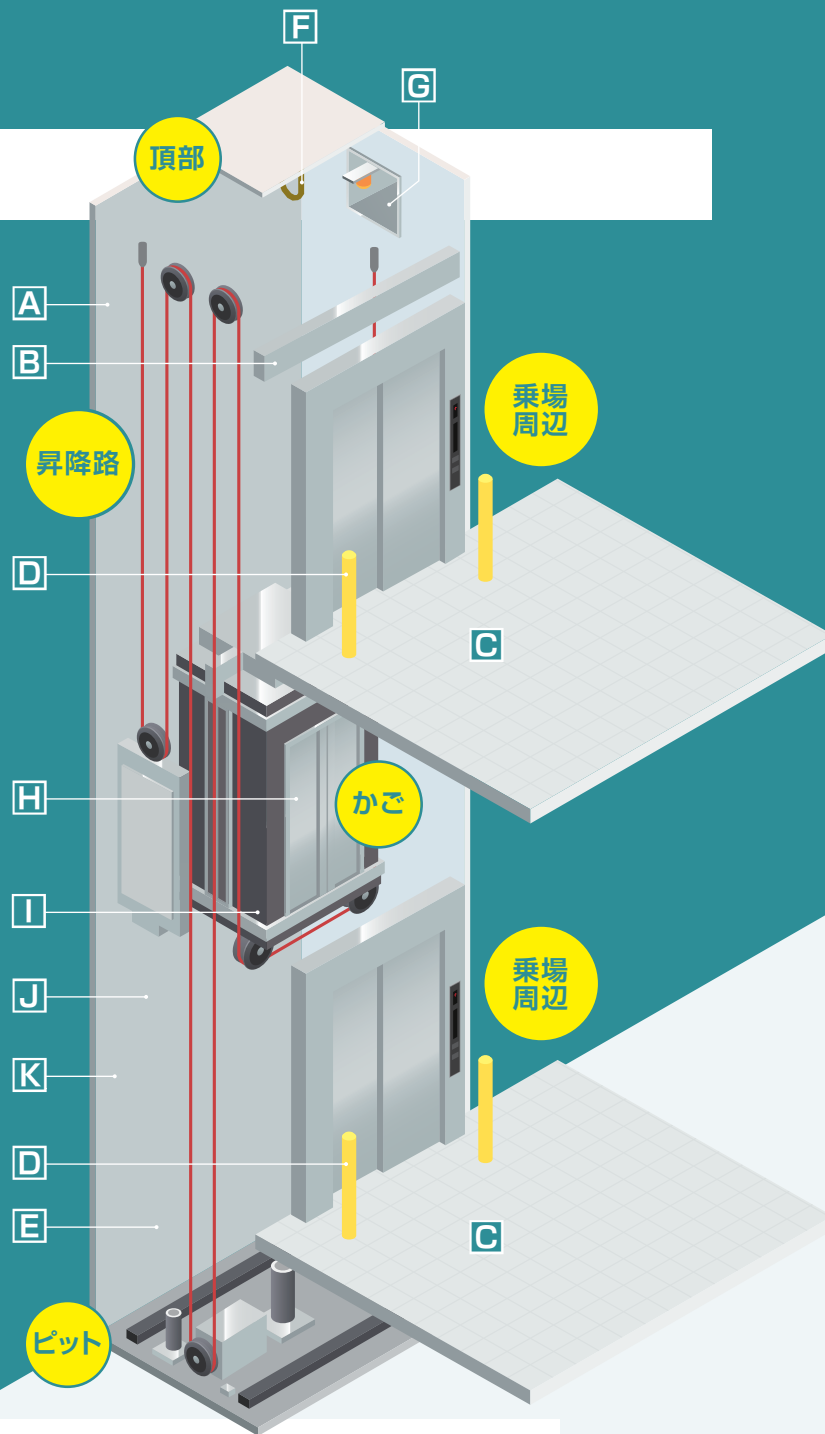
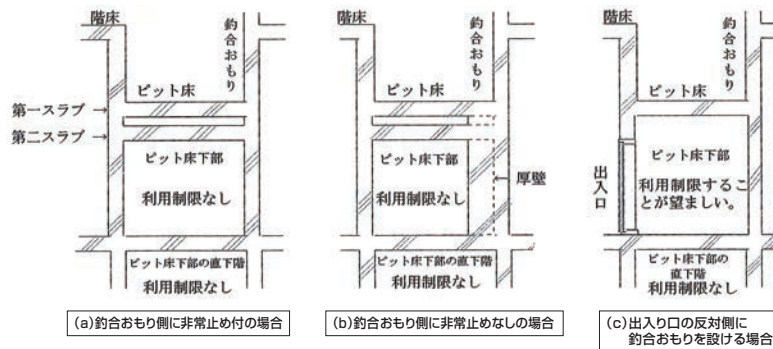


D 乗場周辺損傷対策

トラックヤードやフォークリフト等にて荷役を実施する際には、**衝突防止ポール等の損傷防止対策**の検討をお願いします。(建築側手配・設置工事となります)

E ピット内外仕様

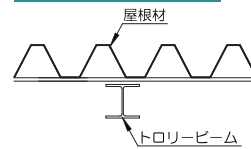
- ピット底部の強度は積載量に応じた**荷重に耐える構造**としてください。
- ピット内に壁面等から浸水しないよう**防水仕上**をお願いします。
- ピット深さは定格速度と積載量によって異なります。カタログの寸法表をご確認ください。
- ピット深さは防水仕上後の最小寸法となります。
- ピット深さが指定の深さより**大きい場合は埋め戻し、小さい場合は掘り増し**が必要となります。またピット深さが1500mmを超える場合は、梯子(弊社手配)または点検用の出入口を設けてください。
- ピット周辺の床から手の届く位置に**ピット点検用コンセント15A**を設けてください。
- 電源等の引き込み位置をご確認ください。**(詳細は27ページ電気設備系統図をご確認ください。)
- ピット床下部への居室等の計画はできません。**やむを得ず**ピット床下部の利用**を計画する際は上の図に準じて計画をしてください。但し、特定行政庁によっては許可されない場合もあります。(建築基準法施行令第129条の7)



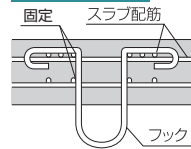
F フックまたはトロリービームの設置

巻上機や重量物の揚重・移動の為、下図に準じて計画願います。昇降路の構造はエレベーターの荷重(反力)に耐えうる構造としてください。エレベーターの荷重は施工図をご参照ください。また、フックを設ける場合は、必ず天井梁の配筋に掛け、かつ溶接するなどでフックが抜けにくいよう頑丈に固定してください。

施工例(トロリービーム)



施工例(フック)



H インターホンなど外部連絡装置の設置

かご内と外部との連絡ができることが必須となっています。

かご内と外部の共用部などに連絡が取れる場所にインターホンを設置計画してください。(建築基準法施行令第129条の10第3項)

I 荷物用・人荷用エレベーターの積載荷重(下図参照)

荷物用エレベーターでかご床面積が15㎡の場合15㎡×2500N=37500Nが(法定)積載荷重、37500N÷9.8÷3826.5kgが(法定)積載量となります。法定積載量を上回る又は下回る概数(端数を切上げ、切捨てた数字)を定格積載量とします。(フォークリフト仕様の場合はセクションガイドP3-P4をご覧ください)

エレベーターの用途と積載荷重、定格積載量(建築基準法施行令第129条の5 第2項)

用途	積載荷重(N)	積載量(kg)	定格積載量(kg)	定員(人)
乗用	面積に応じて計算した荷重(法定積載荷重) W=3600×S [S≤1.5] W=4900×(S-1.5)+5400 [1.5<S≤3.0] W=5900×(S-3.0)+13000 [3.0<S]	法定積載荷重÷9.8 (法定積載量)	法定積載量に50kg以下を加えるか減じた50kg単位の概数(法定積載荷重が3250N以下のものは10kg単位に上回る又は下回る概数としてもよい)	(法定積載量又は定格積載量)÷65kg/人の小数点以下端数切捨て
人荷用	乗用としての法定積載荷重以上で荷物用としての実状にあわせて定めた荷重	左記荷重÷9.8	積載量を上回るか又は下回る概数	(法定積載量又は乗用として計算した場合の定格積載量)÷65kg/人の小数点以下端数切捨て
荷物用	W=2500×S(法定積載荷重)以上で荷物用としての実状にあわせて定めた荷重	左記荷重÷9.8	積載量を上回るか又は下回る概数	

J 昇降路内温度(高温・低温)

(高温)昇降路内の温度は40度以下とし**40度を超える場合は換気設備又は空調設備等が必要**です。(平成12年建設省告示第1413号第1第三号二。)
(低温:結露対策)冷蔵冷凍倉庫をご計画の際は建物側での結露対策を十分に行ってください。結露によりエレベーターの運行に重大な障害を与える可能性があります。

K 昇降路壁・内部・外部設備

以下の諸条件を満たしてください。(積載1,000kgを超える場合は以下によらずにご相談ください)

- RC構造の場合、壁厚は150mm以上(仕上げ代含まず)、コンクリート強度は21N/㎡以上とし、エレベーター荷重に耐えうる構造としてください。
- 昇降路の壁は任意の5㎡の面に300Nの垂直荷重が作用しても15mmを超える変形および塑性変形が生じないこと。
(平成20年建設省告示第1454号第二号イロ)
- 昇降路の壁は難燃材料で造りまたは覆うこと(建築基準法施行令第129条の7第二号)
- RC構造で、昇降路内の壁側面とピット面にアンカー施工をする為、配管・消火栓等を埋め込まない、かつ昇降路面は平坦で突起物(筋金やくぎなど)のない仕上がりをお願いします。
- 昇降路内には建築物に設ける給水・排水・その他エレベーターに必要でない配管等設備は設けなでください。
(建築基準法施行令第129条の2の5)ただし、平成17年国告第570号に適合する構造のもの又は国土交通大臣の認定を受けた配管設備は除きます。
- 荷物用／人荷用エレベーターは構造上相応の振動・動作音が発生します。昇降路に隣接する事務所・人が長時間滞在する居室等は計画しないでください。
- 昇降路壁や鉄骨に耐火被覆材や防音材・保温材等を吹き付ける際はそれらが地震その他の要因で剥離・脱落しないように施工願います。
- 発泡ウレタンなどの断熱材を吹き付ける場合、可燃性のものは使用しないでください。
- 地震時の振動によって、屋上に設置されている水槽からの溢水が昇降路に流入しないように処置をお願いします。



警告 建築基準法施行令を遵守してください。

■ 確認事項

エレベーター据付 着工時までの処置事項	●昇降路の壁面は図面どおり完成していること。 ●乗場の開口部が図面どおり開いていること。 ●基準墨・仕上墨が出されていること。 ●昇降路頂部のフックもしくはトロリービームが施工されていること。 ●鉄骨構造の場合、取付部材が施工されていること。 ●工事用電源が供給されていること。 ●仮設電源（動力・照明用）が用意されていること。（本設電源配管経路で引込み願います。） ●ピット内の防水工事および排水・清掃が完了していること。 ●昇降路への雨水侵入防止対策が完了していること。 ●機材の搬出入経路、昇降路周辺から、足場・パネル類や建材等が撤去されていること。 ●エレベーター機器の搬入に支障のない経路が確保されていること。
監督官庁の 検査確認事項	●不必要な開口部・駄目穴がなく、型枠用材等が放置されていないこと。 ●乗場床・三方枠周辺の仕上げが完了していること。 ●動力電源・照明電源は本設電源であること。 ●インターホン工事が完了していること。 ●鉄骨構造部分の耐火被覆、PC板等の継ぎ目処理が完了していること。 ●昇降路内にエレベーター関係以外の配管、その他の機器が設置されていないこと。

■ 検討事項

機器の搬入経路について	●巻上機など重量物および大形状のものが 있습니다。搬入経路、搬入時期を事前に検討してください。
急行ゾーンがある場合の 非常時救出口について	●人荷用エレベーター計画の際、運行階に出入口が無い階床（急行ゾーン）がある場合、昇降路救出口を10m以下の間隔で設置してください。救出口の戸は、開口部の幅が0.75m以上、高さは1.2m以上の自閉式とし、防火区画の基準に適合したもの（防火設備）を使用してください。

■ 浸水対策

浸水対策	●台風や河川の氾濫等により、浸水の恐れのある地域に設置を計画される場合は、機械室あり（巻上機がピットにない）をご検討ください。（別途、弊社担当者にお問合せください。）
------	---

■ エレベーターの管理業務に関する事項

維持保全および定期検査	●建築基準法で、エレベーターの所有者はエレベーターを常時適法な状態に維持すること、および年に一回所定の定期検査を受け、所轄特定行政庁にその結果を報告することを義務付けられています。また、労働安全衛生法で、一定の要件を満たすエレベーターは、管轄労働基準監督署へ設置届・報告が必要です。要件を満たした上で、積載量1,000kg以上のエレベーターについては、年1回、定期的に検査を受けなければいけません。
変更届	●エレベーターの所有者はエレベーターの修理や改造をしたり、ビル名が変更になった場合には、所轄行政庁にその変更届を提出しなければなりません。
休止届	●エレベーターの所有者は1年～2年の長期にわたり、エレベーターの使用を休止をする場合には、所轄行政庁にその休止届を提出しなければなりません。
廃止届	●エレベーターの所有者は、エレベーターを撤去廃止する場合には所轄行政庁に廃止届を提出しなければなりません。

■ 設置環境・使用環境

設置環境・使用環境 について	●爆発性ガス 爆発性ガスが発生する場所ではエレベーターの設置は不可です。
	●腐食性ガス 設置計画場所が、温泉地での硫化水素、工場、施設等での酸・アルカリなどの腐食性ガスの使用・雰囲気疑われる場合は弊社担当に別途ご相談ください。
	●設置場所標高 設置場所が標高1000mを超える場合は別途お問合せください。
	●その他 その他、特殊な環境でエレベーターを計画する際は別途ご相談ください。

ドア方式 バリエーション

建築上の制約や荷物の運搬方法、積載量、荷物の容態等ニーズに合わせて2枚片開き戸、3枚片開き戸、3枚上開き戸から選択いただけます。
(人荷用は上開き戸に対応しておりません。)

※詳細についてはご相談ください。

2枚片開き戸



積載2,000kg以下、間口幅が狭めの仕様向きで、低コストのシンプルな仕様です。2台連装の場合は開閉方向や設置スパンに注意が必要です。

3枚片開き戸



積載2,000kg以下、間口が広めの仕様の場合、横方向の設置スペースが2枚片開き戸と比べ削減できます。2台連装の場合は開閉方向や設置スパンに注意が必要です。

3枚上開き戸(荷物用)



荷物用積載2,000kg以上、開口幅の広さが求められる仕様向けです。上開き戸に必要な階高が、2枚上開き戸と比べ低く設定できるというメリットがあります。

ドア方式別標準寸法

戸の種類	記号	出入口幅 ※標準 (mm)	出入口幅 ※遮煙戸 (mm)	有効高さ (mm)
2枚戸 片開き戸	2S	900~1800	900~1800	2100~3000
3枚戸 片開き戸	3S	1500~2800	1500~2700	2100~3000
3枚戸 上開き戸	3U	2000~3500	2000~3500	2300~3000

※上記寸法以外は別途ご相談ください。

ドア・かご 標準意匠仕様

仕様

	荷 物 用	人 荷 用
天 井	鋼板塗装仕上	
側 壁	鋼板塗装仕上	
欄 間	鋼板塗装仕上	
扉	鋼板塗装仕上	
人 口 柱	ステンレスH.L	ステンレスH.L
巾 木	—	ステンレスH.L
照 明	LED	LED
救 出 口	500×400mm	500×400mm
床	縞鋼板	Pタイル
敷 居	硬質アルミ※1	硬質アルミ

※上記寸法以外は別途ご相談ください。

※1 上開き戸の場合は鋼板もしくは縞鋼板です。

フォークリフト仕様上開き戸モデルに遮煙戸仕様が登場

遮煙仕様により、建築コストの削減

フォークリフト仕様上開き戸モデルに遮煙戸仕様が登場。特別な防火設備の工事が不要。昇降路寸法での取り付けが可能で、建築コストの削減ができます。

作業効率向上。更に安全・安心

- かご出入口にマルチビームセンサーを標準装備。人や荷物が戸に接触することを未然に防ぎ、安全・安心に作業効率を向上。
- 独立2系統の吊りチェーン構造や安全確認スイッチ※による安全・安心対策。

※吊りチェーンに予期しない異常が発生した場合、当該異常を検知し動力を遮断し速やかにドア開閉を停止します。



間口5000mmまで規格外サイズ対応可能



C2ローディング対応

大臣認定
取得済

防火設備工事が不要な遮煙戸

2枚、3枚片開き戸・3枚上開き戸

(オプション)

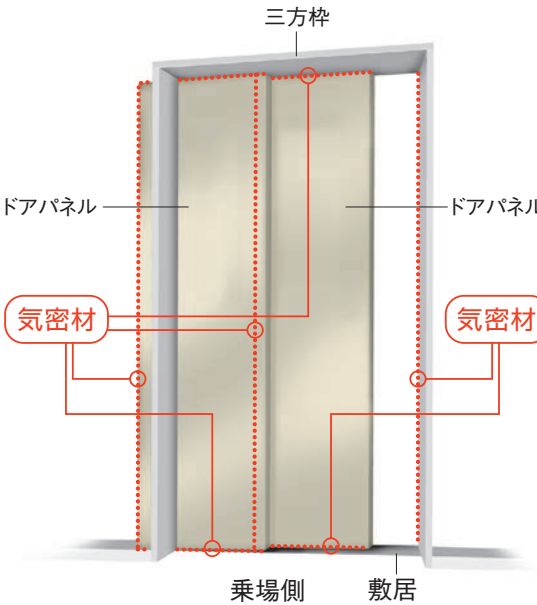
昇降路用防火設備の「遮煙戸」は、従来なら乗場戸廻りに特別な昇降路用防火設備の設置が必要でしたが、乗場戸と三方枠に気密材をコンパクトに配置し、煙の侵入を防止できますので、従来と同じ昇降路寸法で取り付けができます。これにより、建築コストの削減ができるようになります。

※火災時管制運転のご採用が必要となります。詳細についてはお問合せください。

ドア方式とドア周り標準安全装置

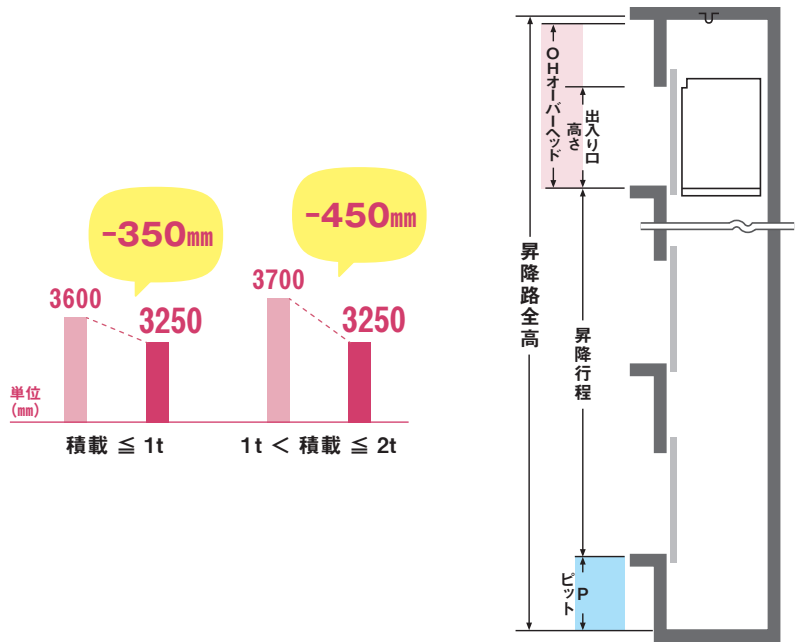
ドア方式	遮煙戸	ドア周り標準安全装置
片引き戸	あり	マルチビームセンサー
	なし	マルチビームセンサー+接触式セーフティー
上開き戸	あり(3枚戸のみ)	マルチビームセンサー+接触式セーフティー
	なし	マルチビームセンサー+接触式セーフティー

マルチビームセンサーはP17参照



建築設計に優しい 省スペース化

new 最小オーバーヘッド高さを短縮(3S)

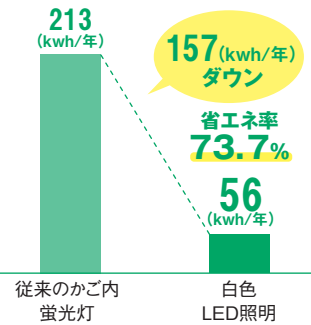


環境に優しい 省電力化

LED照明を採用 省エネ&コストダウン eco

かご内にLED照明を採用し、消費電力・CO₂排出量が大幅ダウン。長寿命&電気代の削減で、ランニングコストの削減にもつながります。

消費電力比較(当社調べ)



作業者に優しい 改善・改良

new 敷居隙間20mm

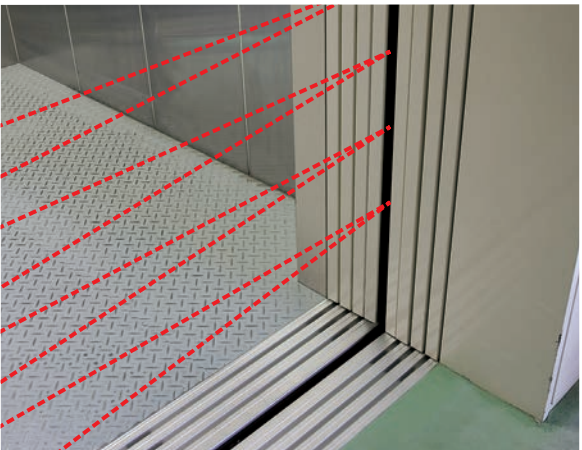
エレベーターとかごとの敷居隙間を20mmに抑えました。これにより、搬入される荷物が重い場合、かご内またはかご外へ移動する際に発生していた振動・衝撃が軽減されます。

※3枚上開き戸を除きます。



マルチビームセンサーを標準装備 非接触式により戸閉時の危険を軽減

ドアに荷物や作業中の人が挟まれてしまうといった危険がないよう、光電式マルチビームセンサーを標準採用しました。非接触式のため、安全性が高く、人の挟み込みや荷物の損傷防止にも効果があります。



仕様

■主仕様

主電源	3相交流200V(50/60Hz)
制御方式	インバータ制御
巻上機配置	マシンルームレス:昇降路内底部
操作方式	荷物用:シングルオートマチック方式 人荷用:セレクトティブコレクティブ
昇降行程	最大30m(速度30m/min、45m/min)、最大50m(速度60m/min)

■主な安全装置

出入口関係	ドアセーフティシュー、ドアスイッチ、乗場ドアロック、マルチビームセンサー
かご関係	調速機による過速検出スイッチ、非常止め装置、救出口スイッチ
昇降路内関係	戸開走行保護装置、過荷重検出スイッチ、頂部及びピット安全距離確保スイッチ、上部および下部リミットスイッチ、上部および下部ファイナルスイッチ、緩衝器

■標準意匠

かご側壁	鋼板製 焼付塗装仕上
天井	鋼板製 焼付塗装仕上
扉	鋼板製 焼付塗装仕上
三方枠	鋼板製 焼付塗装仕上
敷居	アルミ製 アルマイト処理 ※上開き戸は鋼板
床	荷物用:縞鋼板 人荷用:Pタイル

■標準機能

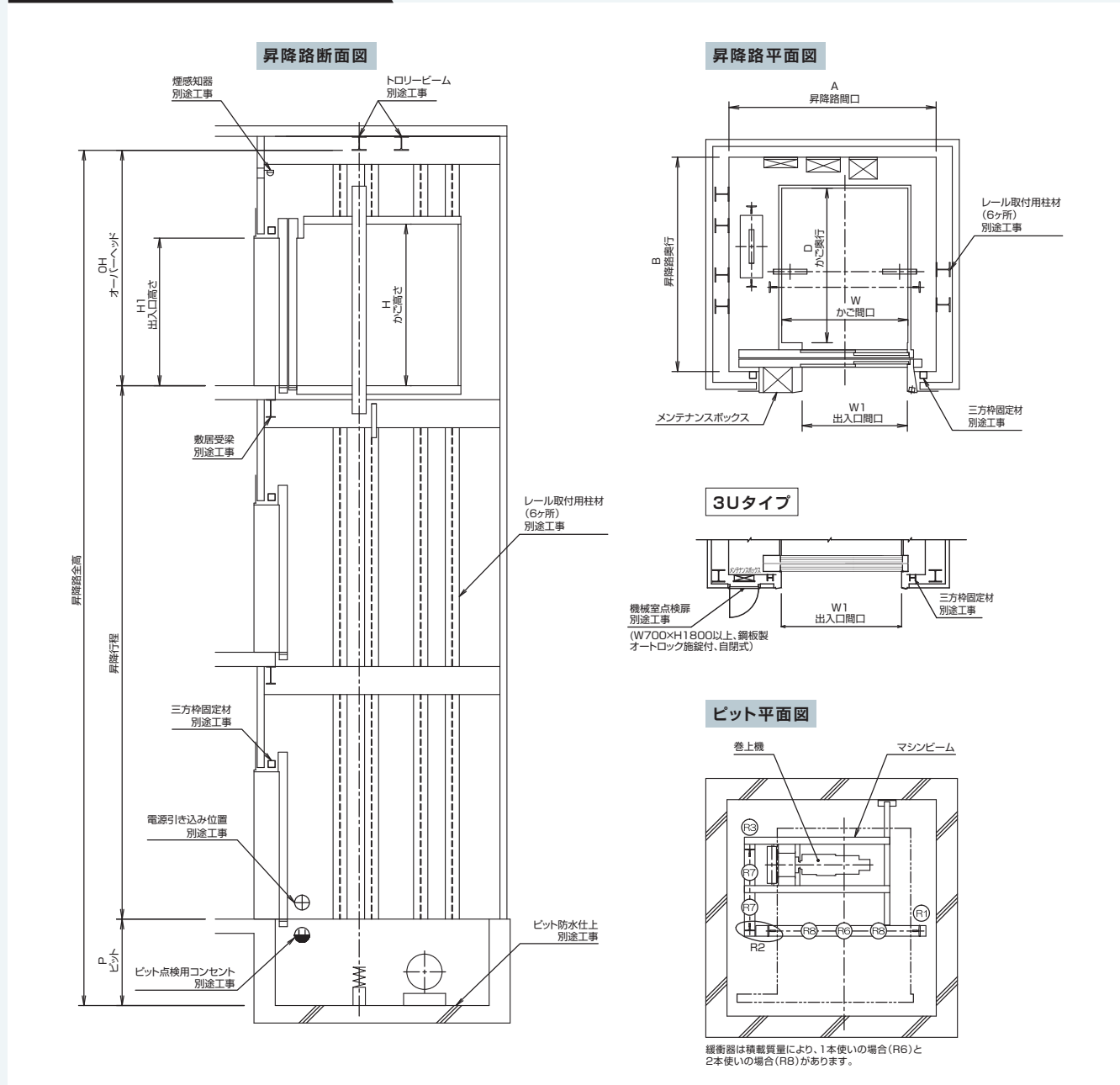
地震時管制運転	地震発生時に、最寄階への自動着床運転機能
停電時自動着床運転	停電時バッテリーによる最寄階への自動着床運転機能
行先階キャンセル機能※	行先ボタンを2秒以内に2度押すことにより、すでに登録済みの行先をキャンセルする機能
戸開3分間タイマー機能	かご操作盤のボタン操作により、戸を3分間開放しつづける機能
自動床合わせ機能	戸閉時に、負荷状態に合わせ、着床誤差を改善する機能
マルチビームセンサー	戸に人や荷物が挟まれないように非接触式多光軸センサーにて反転戸開する機能
接触式セーフティー	戸に人や物が接触した際に反転戸開する機能(横引遮煙戸仕様除く)
過荷重検出機能	過積載時にブザーを鳴動し、昇降運転を禁止させる機能

※速度60m/min仕様は除く。

■オプション

		掲載ページ
火災時管制運転	火災発生時、避難階への直通運転機能	
遮煙戸	乗場戸に遮炎・遮煙性能を付足し、防火設備、特定防火設備とする仕様	▶▶▶ P16
乗場ビームセンサー(単光軸)	マルチビームセンサーより手前(乗場側)に設置可能な、戸に荷物や人が挟まれるのを予防する装置	▶▶▶ P4、6、8、10
パーキング機能	乗場操作盤のキースイッチで、運転を休止する機能	
荷すり	かご内壁下方にステンレス板(ヘアライン仕上)を取り付け、壁にキズをつけにくくする仕様	▶▶▶ P4、6、8、10
かご保護幕	かご内壁面にフェルト地の布を取り付け、キズや汚れをつきにくくする幕	▶▶▶ P6、8、10
遠隔監視装置	異常発生時にセンターに通知する装置 ※別途、弊社までお問合せください	
ストレッチャーすり	ストレッチャーや台車のかご内壁への衝突を和らげるため、かご内壁面に設置されるガード	
インターホン追加	地震、火災といった緊急時に、かご内と連絡可能なインターホンの増設	▶▶▶ P12
かご内シロッコファン	かご内への送風ファン。かご外部からかご内へ空気を取り込むことで、かご内の空気循環を促す装置	▶▶▶ P8
かご内換気扇	荷捌き等で発生したかご内の粉塵等を、かご外部へ排出する装置	▶▶▶ P8
かご内非常放送スピーカー	火災などの緊急時に、建屋側から発報される非常放送をかご内で聴取可能とするスピーカー	
かご内安全確認ミラー	積み荷等で遮られたかご内の死角の状況を、乗場側からでも確認しやすくする鏡	▶▶▶ P3、4、6、7、8
音声合成装置	エレベーターの到着階や乗り過ぎ(荷物の乗せ過ぎ)の注意喚起等を、かご内の人に音声で案内する装置	
車いす仕様	車いす利用者の方が操作、利用しやすいよう、適切な高さに専用操作盤や手すり、鏡が設けられた仕様	▶▶▶ P7
視覚障がい者対応仕様	視覚障がい者の方が操作しやすいように、操作ボタンに点字表示が設けられ、運行状況が音声で案内される仕様	▶▶▶ P7
乗場戸閉鎖(人荷用)	戸開延長ボタンを押して荷捌きを行っている時、作業が終了後、乗場操作盤にて戸閉できる機能	
かご到着灯	エレベーターから離れた位置からでも、かごの到着を確認できるライト	
B山ゴムマット	台車をかごに出し入れする時に、かご床の凹凸で発生する振動を緩和するマット	▶▶▶ P6、10
かご内フォークリフト車止め	フォークリフトがかご内壁に衝突することを防ぐため、かご床の周囲に設置される車止め	
乗場リモコン(特殊仕様)	フォークリフトに乗ったまま、かご呼びが可能になるリモコン	▶▶▶ P3、4
オープンレベリング	戸開時の負荷変動によるかご床のずれを補正する機能(ClassC2の場合は標準装備)	

一方向出入口

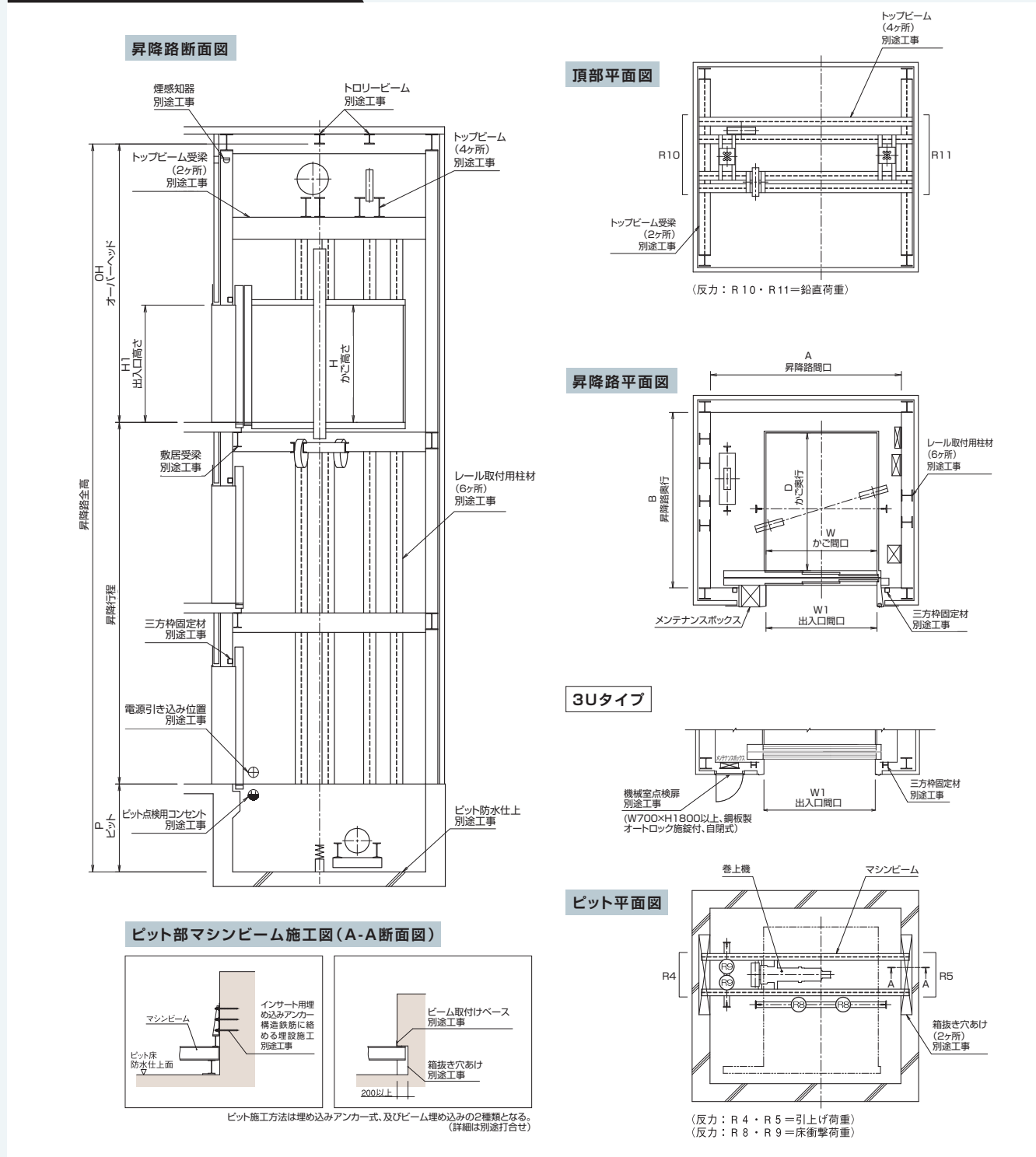


【2t超】荷物用エレベーター据付図（マシンルームレス）

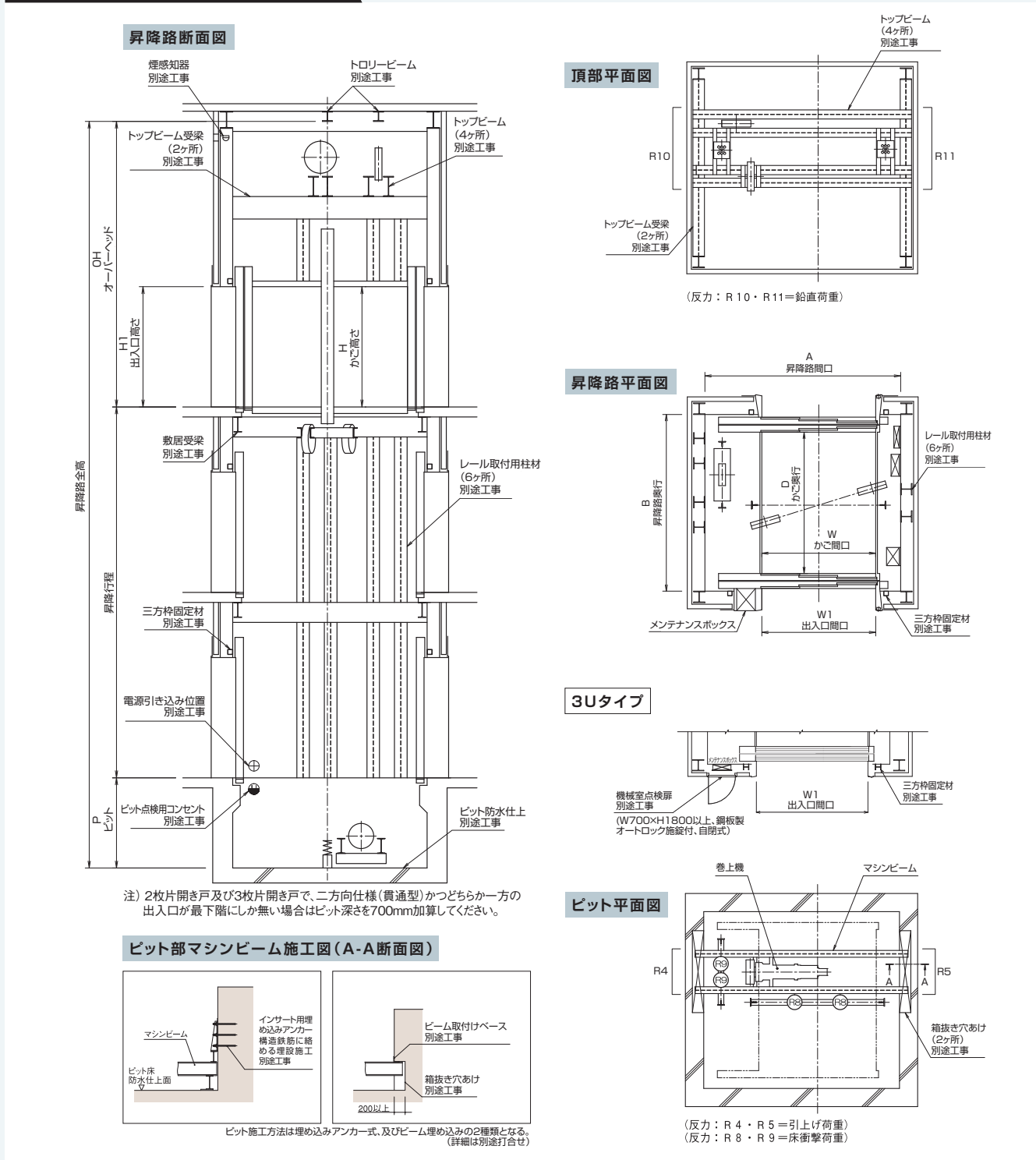
MULTIBEAR / ELEVATOR for FREIGHTS

荷物を輸送することを目的とするもので、荷扱者・運転者以外の人は利用できません。

一方向出入口



二方向出入口



注) 2枚片開き戸及び3枚片開き戸で、二方向仕様(貫通型)かつどちらか一方の出入口が最下階にしか無い場合はビット深さを700mm加算してください。

用途	機種	出入口	積載質量 (kg)	速度 (m/min)	かご内法(mm)			出入口(mm)		昇降路内法(mm)					ビット反力(kN)【鉛直荷重】				頂部反力(kN)		電動機 容量(kW)
					間口 (W)	奥行 (D)	高さ (H)	間口 (W1)	高さ (H1)	昇降路 間口 (A)	昇降路 奥行 (B)	最小 階高	オーバー ヘッド (OH)	ビット (P)	長期荷重	緩衝器衝突時	長期荷重	長期荷重			
																			R4	R5	
荷物用	MLFLe-3000-3S	一方向	3,000	30(45)	2800	3700	2500	2800	2500	4490	4480	3750	5850	2100	130	35	135	115	350	160	15(22)
	MLFLe-3000-3U		3,000	30(45)	2800	3700	2500	2800	2500	4570	4590	5000	5850	2100	135	35	140	120	360	165	15(22)
	MLFLe-3500-3S		3,500	30(45)	2800	4000	2500	2800	2500	4490	4780	3750	5850	2300	150	40	155	135	400	190	15(22)
	MLFLe-3500-3U		3,500	30(45)	2800	4000	2500	2800	2500	4570	4890	5000	5850	2300	155	45	160	140	420	195	15(22)
	MLFLe-4000-3S		4,000	30(45)	2800	4300	2500	2800	2500	4490	5080	3750	5850	2300	165	45	170	140	440	200	18.5(30)
	MLFLe-4000-3U		4,000	30(45)	2800	4300	2500	2800	2500	4570	5190	5000	5850	2300	170	45	175	150	450	205	18.5(30)

上表の数値は参考値です。積載4,000kgを超える場合も対応可能なため、詳しくはお問合せください。

■反力は昇降路全高12m時の数値です。 ■昇降路温度が40度以下を保てない場合、換気設備をご用意いただく場合があります。

用途	機種	出入口	積載 質量 (kg)	速度 (m/min)	かご内法 (mm)			出入口 (mm)		昇降路内法 (mm)				ビット反力 (kN) [鉛直荷重]				頂部反力 (kN)		電動機 容量 (kW)	
					間口 (W)	奥行 (D)	高さ (H)	間口 (W1)	高さ (H1)	昇降路 間口 (A)	昇降路 奥行 (B)	最小 階高	オーバー ヘッド (OH)	ビット (P)	長期荷重		緩衝器衝突時		長期荷重		
															R4	R5	R8	R9	R10		R11
荷 物 用	MLFLe-3000-3ST	二 方 向	3,000	30(45)	2800	3700	2500	2800	2500	4490	4500	3750	5850	2100	135	35	140	120	360	165	15(22)
	MLFLe-3000-3UT		3,000	30(45)	2800	3700	2500	2800	2500	4600	4870	5000	5850	2100	145	40	150	130	385	175	15(22)
	MLFLe-3500-3ST		3,500	30(45)	2800	4000	2500	2800	2500	4490	4800	3750	5850	2300	155	45	160	135	415	195	15(22)
	MLFLe-3500-3UT		3,500	30(45)	2800	4000	2500	2800	2500	4600	5170	5000	5850	2300	165	45	170	150	445	200	15(22)
	MLFLe-4000-3ST		4,000	30(45)	2800	4300	2500	2800	2500	4490	5100	3750	5850	2300	170	45	170	145	450	205	18.5(30)
	MLFLe-4000-3UT		4,000	30(45)	2800	4300	2500	2800	2500	4600	5470	5000	5850	2300	180	50	185	160	475	215	18.5(30)

上表の数値は参考値です。積載4,000kgを超える場合も対応可能なため、詳しくはお問合せください。

■反力は昇降路全高12m時の数値です。 ■昇降路温度が40度以下を保てない場合、換気設備をご用意いただく場合があります。

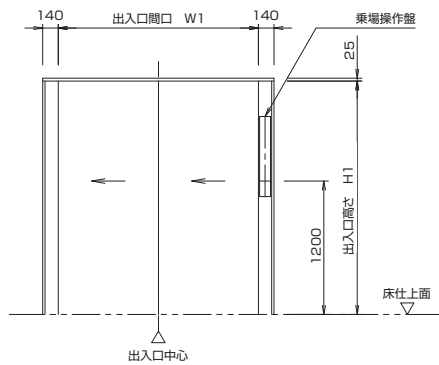
出入口詳細図・据付図2S(2枚戸片開き)

2枚戸上開きにつきましては別途お問合せください。

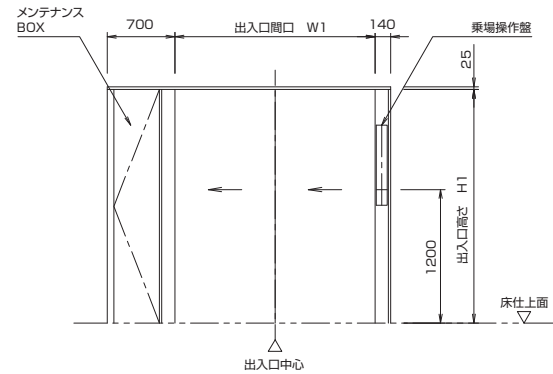
MULTIBEAR / ELEVATOR for FREIGHTS

2S(2枚戸片開き)

出入口正面図(最下階以外)

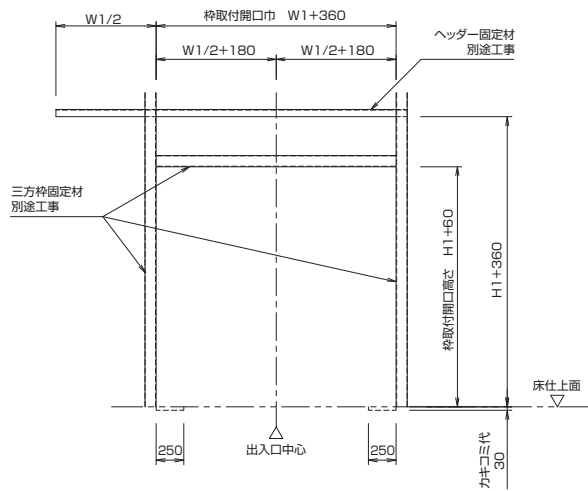


出入口正面図(最下階)

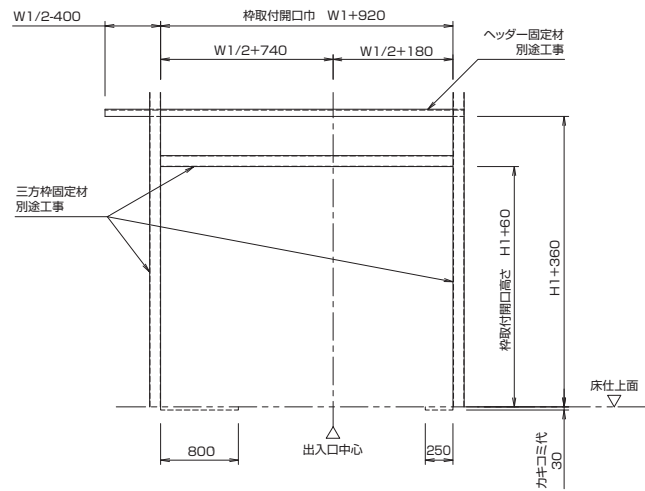


2S 鉄骨造

出入口穴あけ図(最下階以外)



出入口穴あけ図(最下階)

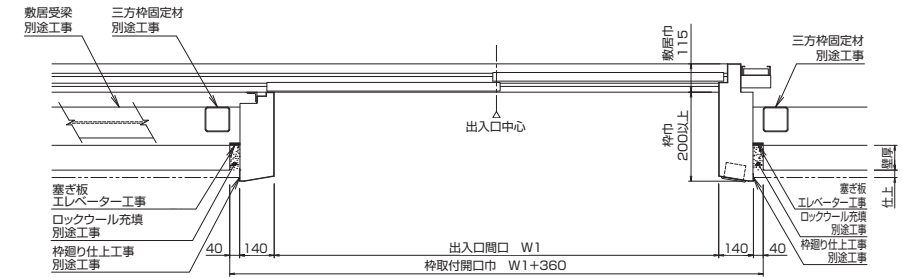


用途	機種	出入口(mm)	
		間口(W1)	高さ(H1)
荷物用	MLFLe-500-2S	900	2100
	MLFLe-600-2S	1100	2100
	MLFLe-750-2S	1200	2100
	MLFLe-1000-2S	1500	2100

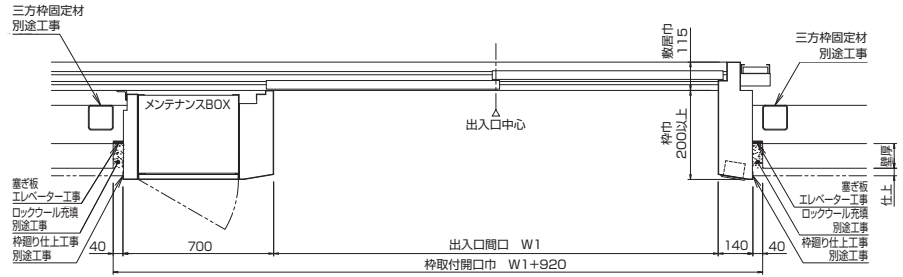
用途	機種	出入口(mm)	
		間口(W1)	高さ(H1)
人荷用	MSPLe-500-2S	900	2100
	MSPLe-600-2S	900	2100
	MSPLe-750-2S	900	2100
	MSPLe-1000-2S	1200	2100
	MSPLe-1500-2S	1500	2100
	MSPLe-2000-2S	1500	2100

2S 鉄骨造

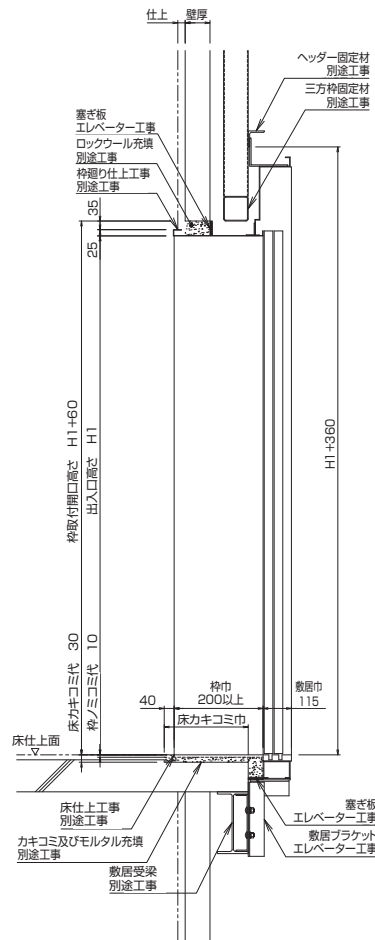
出入口平面図(最下階以外)



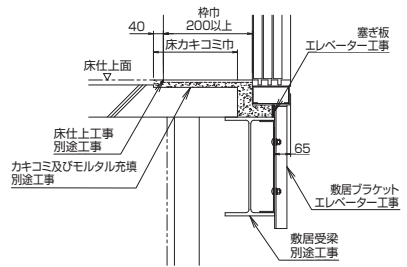
出入口平面図(最下階)



出入口断面図



積載2,000kg超えの敷居下部断面図



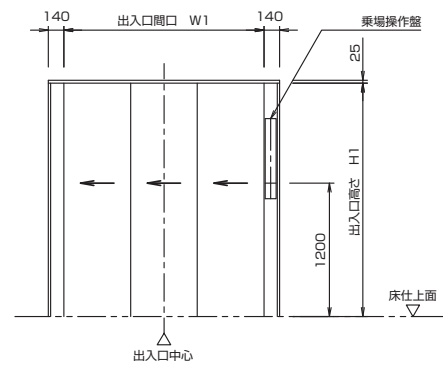
出入口詳細図・据付図3S(3枚戸片開き)

3枚戸上開きにつきましては別途お問い合わせください。

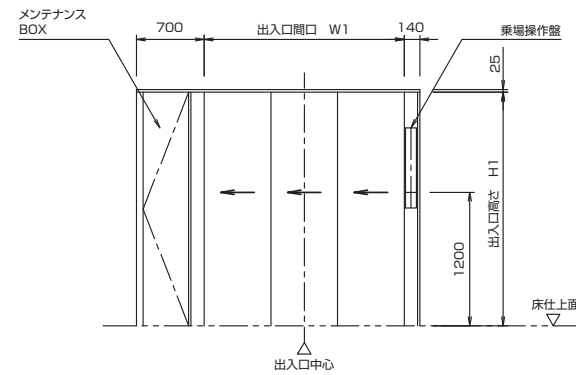
MULTIBEAR / ELEVATOR for FREIGHTS

3S(3枚戸片開き)

出入口正面図(最下階以外)

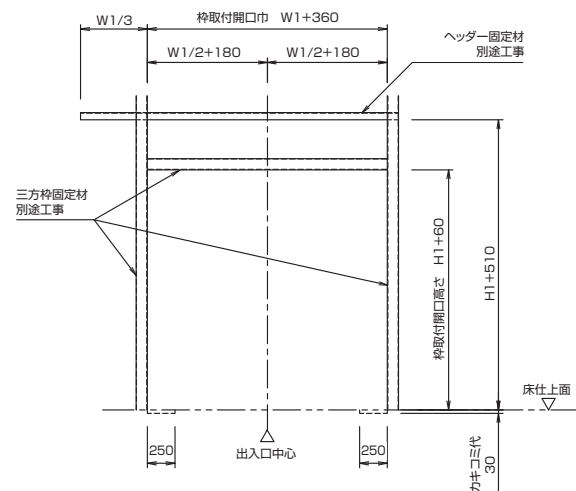


出入口正面図(最下階)

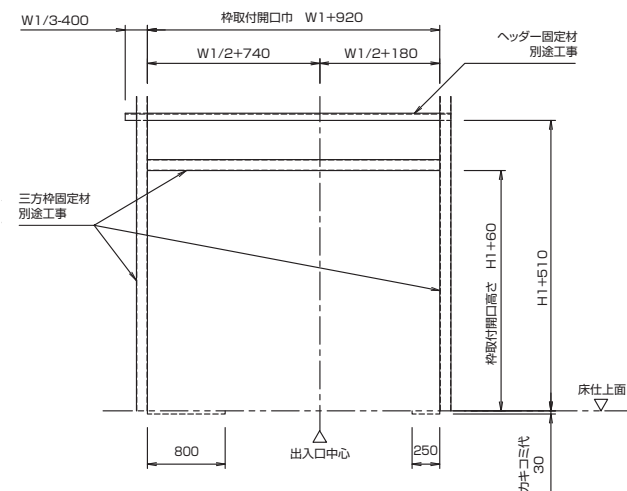


3S_鐵骨造

出入口穴あけ図(最下階以外)



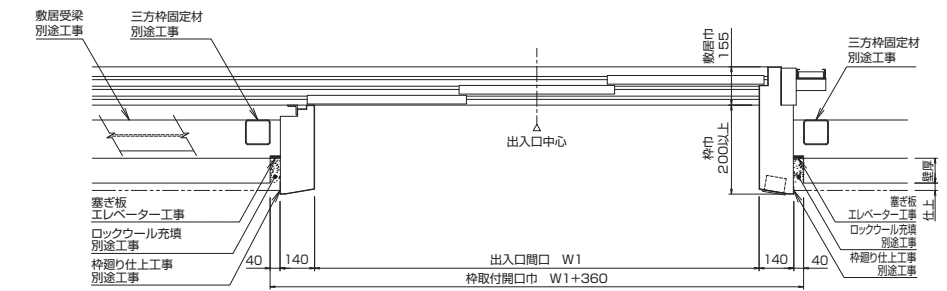
出入口穴あけ図(最下階)



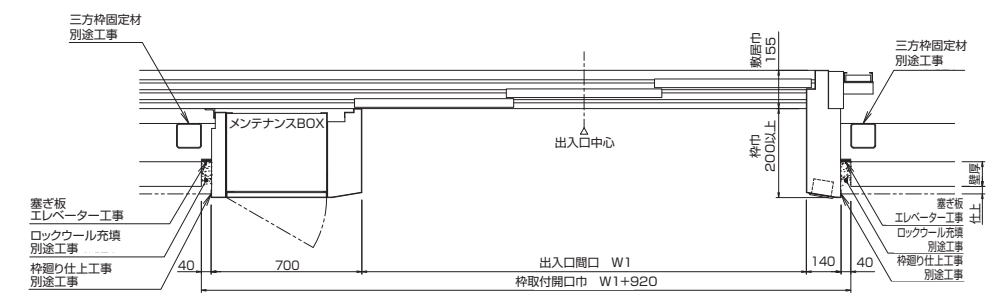
用途	機種	出入口(mm)	
		間口 (W1)	高さ (H1)
荷 物 用	MLFLe-1500-3S	2300	2300
	MLFLe-2000-3S	2300	2300
	MLFLe-3000-3S	2800	2500
	MLFLe-4000-3S	2800	2500
	MLFLe-5000-3S	2800	2500

3S_鐵骨造

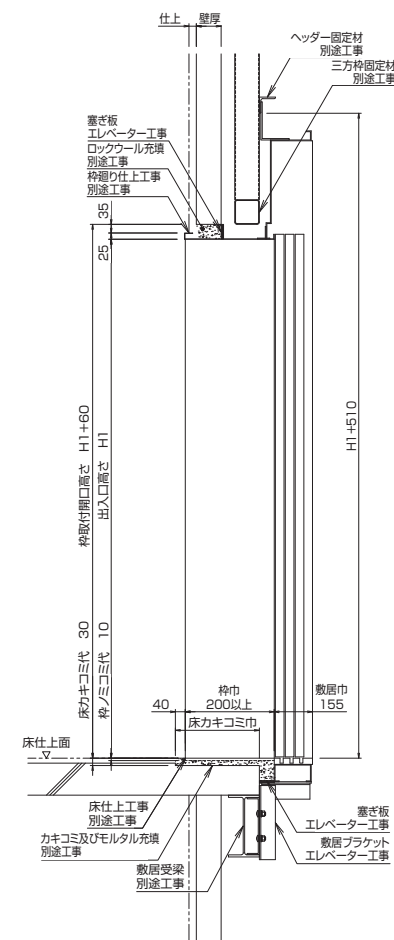
出入口平面図(最下階以外)



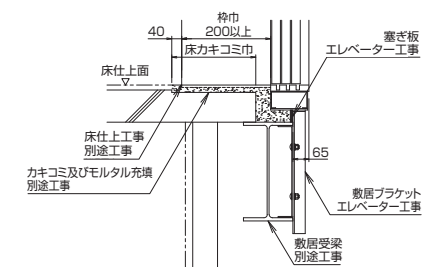
出入口平面図(最下階)



出入口断面图

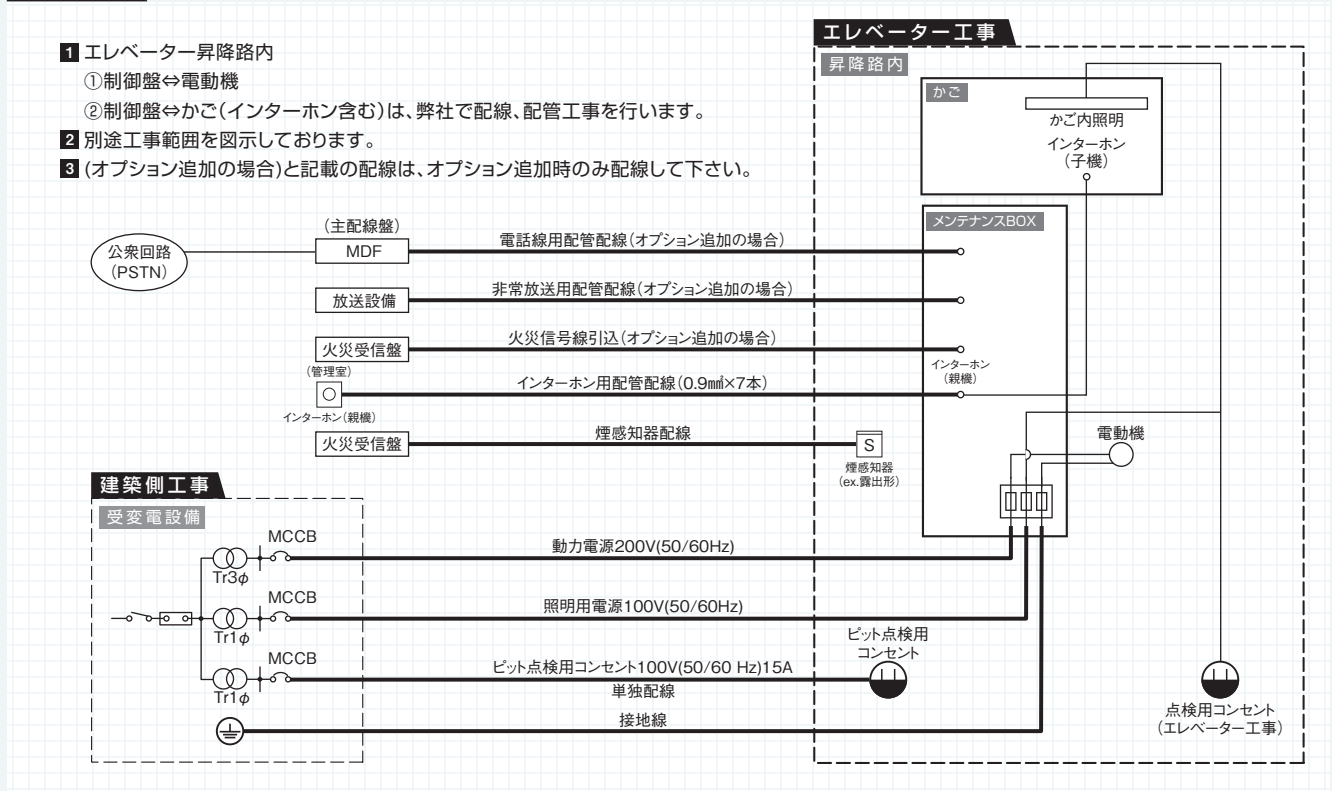


積載2,000kg超えの敷居下部断面図



注意事項

- 1エレベーター昇降路内
- ①制御盤⇄電動機
- ②制御盤⇄かご(インターホン含む)は、弊社で配線、配管工事を行います。
- 2別途工事範囲を図示しております。
- 3(オプション追加の場合)と記載の配線は、オプション追加時のみ配線して下さい。



■ 定格速度30m/min電動機容量・電源設備 (ギヤードモータ)

		電動機容量 (kW)	電線太さに対する電線最大こう長[m]											接地線 最小太さ (mm)	建屋側 遮断器容量 (A)	電源 設備容量 (kVA)
			3.5	5.5	8	14	22	38 (mm)	60	100	150	200	250			
積載質量 kg	500	3.7	36	55	79	135	203							3.5	40	6
	600	3.7	36	55	79	135	203							3.5	40	6
	750	5.5		39	56	96	144	228						3.5	60	9
	1,000	5.5				56	84	134	196					5.5	100	14
	1,500	5.5				56	84	134	196					5.5	100	14
	2,000	7.5				41	62	98	144	203				8	125	18
	3,000	15						63	92	130	163			14	175	28
	3,500	15						63	92	130	163			14	175	28
	4,000	18.5						51	75	107	134	158		14	200	34

■ 定格速度45m/min電動機容量・電源設備 (ギヤードモータ)

		電動機容量 (kW)	電線太さに対する電線最大こう長[m]										接地線 最小太さ (mm)	建屋側 遮断器容量 (A)	電源 設備容量 (kVA)	
			3.5	5.5	8	14	22	38 (mm)	60	100	150	200				250
積載質量 kg	500	3.7	36	55	79	135	203							3.5	40	6
	600	3.7	36	55	79	135	203							3.5	40	6
	750	5.5		39	56	96	144	228						3.5	60	9
	1,000	5.5				56	84	134	196					5.5	100	14
	1,500	11					49	77	113	160				8	150	23
	2,000	11					49	77	113	160				8	150	23
	3,000	22							62	88	110	130	140	22	250	40
	3,500	22							62	88	110	130	140	22	250	40
	4,000	30							63	79	93	100	22	350	56	

※ 定格速度60m/min電動機容量・電源設備(ギヤレスモータ)は問い合わせください。

■ 電源設備

電源設備・電源線	●AC-200V、50/60Hz エレベーターは一般に起動頻度が高く、必然的に電気容量も大きくなります。 適正な電源を供給することは、エレベーターの性能維持およびメンテナンスの面からも大変重要です。電源設備、電源線は条件に合致した適正なものを選択のうえ施工してください。
エレベーター用照明電源	●AC-100V、50/60Hz かご内の照明・換気扇用・各階表示ランプの電源としては、交流単相100Vが必要です。 この電源を動力電源から分岐降圧して使用せず、独立系統として供給してください。 さらに不測の停電時などの自家発電時にも供給するよう計画する必要があります。
インターホン	●インターホンは緊急時にかごと外部をつなぐ通話手段として欠かせません。 配線数は標準インターホンの場合1台につき7本、1台増やすごとに4本追加してください。

■ 下記項目は、エレベーター工事に含まれませんので、別途関連工事として実施してください。

■ 建築工事関係

コンクリート(RC)構造	
1	昇降路の築造工事(昇降路のコンクリート厚さは、150mm以上)
2	躯体誤差が20mm以上あるときはつり工事および補修工事
3	弊社製品で対応できない場合(昇降路が広すぎるなど)に必要なEV取付用下地材設置工事
鉄骨(S)構造・鉄骨コンクリート構造(SRC)・PC構造	
1	レールブラケット取付用下地鋼材の設置またはインサート埋込工事
2	各階出入口機器(三方枠等)取付用下地鋼材の設置工事
3	昇降路内鉄骨材の耐火処理工事
共通	
1	各階出入口機器(三方枠等)取付用穴あけ工事
2	各階乗場関係機器取付前の床ハツリ工事及び、取付後の出入口廻りの壁および床の仕上工事
3	各階乗場の三方枠と壁間のモルタル詰め・ロックウールなどの充填工事および耐火処理工事
4	ビット内防水工事(必要に応じ、排水処理工事を含む)
5	ビットが深すぎる場合の埋め戻し工事
6	ビット深さが浅すぎる場合の掘り下げ工事
7	ビット下を使用する場合の建築躯体処理工事
8	併設されたエレベーターのビットの間仕切り工事
9	ビット点検用出入口またはタラップの設置工事
10	急行ゾーンがあるときの非常時救出口および出入口設置工事
11	昇降路頂部の吊りフックまたはトロリービーム取付工事
12	昇降路内建築工事仮設床用(水平養生)の金網、デッキプレートなどの撤去工事
13	昇降路頂部の煙感知器設備の設置工事(外部より点検可能な点検口および点検口のスイッチの設置を含む)
14	開放廊下および屋上など直接外気と接する乗場における雨水よけ工事
15	昇降路内頂部のトップビーム設置工事 ※積載量が2,000kg超えの場合
16	ビット部マシンビーム取付のためのインサート埋め込み、またはスリーブ穴あけ工事 ※積載量が2,000kg超えの場合
17	機械室点検扉設置工事(鋼板式、オートロック施錠付、自閉式)※3U仕様の場合

■ 電気・消防設備工事関係

1	建築基準法施行令に定める昇降路とその他の部分を区画する防火設備およびその接点供給と制御盤までの配管・配線工事
2	エレベーター制御盤等までの動力電源、照明用電源、接地線の引込工事
3	インターホン、その他エレベーターに必要な配管・配線工事
4	ビット点検用コンセントの設置工事
5	医療機器・放送用機器・コンピュータ機器などの電源とエレベーター動力用電源の電源系統分離工事

■ 仮設工事関係

1	据付工事用現場話所およびエレベーター機器・据付工事用機器の保管場所の供給
2	着工時に据付工事用電源および試運転調整時に動力電源の供給(動力および照明用電源共、本設電源配管経路での引込。容量については別途打合せ)
3	エレベーター機器および据付工事用機器の搬入に支障のない経路の確保
4	据付工事用砂・セメント・水などの支給
5	エレベーター工事着工前までの各階出入口開口部の養生作業

■ 注意事項

1	エレベーターに関係するもの以外の用途配管・ダクトなどが露出しないこと(建築基準法施行令第129条の2の5)
2	電源電圧の変動は+5%〜-5%以内、電圧不平衡率を5%以内にする
3	昇降路内温度は5℃以上40℃以下にすること(40℃を超える場合は、換気設備が必要)
4	昇降路内湿度は、月平均90%以下、日平均95%以下にすること
5	有毒ガス・甚だしい塵埃などが入らないこと
6	風雨にさらされたり、塩分の影響をうけないこと
7	エレベーターの各階出入口は、直射日光が当たらない構造にすること
8	躯体が承諾図と相違がある場合は、エレベーター着工までに躯体の修正をお願いします

全国ネット24時間アフターサービス体制で業務をサポート

万全のアフターサービス

設置いただきました弊社の製品につきましては、弊社および全国販売網に属するサービスネットワークにより、責任を持ってフォローいたします。製品のお引き渡しより3ヶ月間は無償で点検サービスをさせていただきます。以降は有料保守点検のご契約をお願いしております。なお、エレベーターは法令により年一回、検査報告が必要です。機械性能の維持のため、保守点検契約をお勧めいたします。

※一部地域により異なります。



不測の事態にも即応できる体制

「荷物用・人荷用エレベーター」は、休むことなく安全・確実に運行されなければなりません。もしもの時に備えて絶えず保守管理に留意し、復旧させるのが私たちに課せられた使命だといえましょう。弊社は全国にわたり、万全の状態で待機しております。保守契約をいただく「荷物用・人荷用エレベーター」は、一台ごとに管理番号を登録。コンピュータに詳細データがインプットされ、保守管理計画に基づいて運用処理されております。

■クマリフトの遠隔監視システム

電話回線を用いて、クマリフトの遠隔監視センターがお客様の昇降機の運行状態をリアルタイムにデータ監視します。データはセンターに蓄積され、最適な保守点検計画の実現に活かします。また、異常が検出された際には、センターが担当の専門技術者へ連絡し、適切・迅速な対応を図ります。万が一、故障によりご利用者がかご内に閉じ込められた場合、かご内の非常通話インターホンを通じて、センターと直接会話をすることで、ご利用者の不安を軽減します。

※遠隔監視システムには、遠隔監視装置(オプション)と電話回線の敷設が必要となります。

※電話回線使用料はお客様のご負担となります。

System

製品保証

弊社は製品のお引き渡し後一年間保証をいたします。

保証期間中に起きる設計・製作上の欠陥、据え付けの不備による故障について無償または、状況によりお取り替えいたします。

ただし、次に該当する場合については、製品保証および無償のサービスの責を負いかねます。

- ① 保守点検のご契約が無い(手入れ不足)に起こる故障の場合
- ② 取り扱い上の不注意による損傷および故障の場合
- ③ 使用上の自然摩耗により、部品を取り替える場合
- ④ 弊社および全国サービスネットワーク以外で保守点検または改造・修理等をされた場合
- ⑤ 天災地変やその他不可抗力による損傷および故障の場合

Product Guarantee

大 阪 本 社	〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀1-12-20	TEL. 06-6445-6700 FAX. 06-6445-6780	九 州 支 店	〒810-0074 福岡県福岡市中央区大手門1-5-8 アークビル大手門2F	TEL. 092-739-7760 FAX. 092-739-7761
東 京 支 店	〒110-0015 東京都台東区東上野3-35-9 本池田ビル	TEL. 03-3839-1500 FAX. 03-3839-1611	石 川 工 場	〒923-0061 石川県小松市国府台5-26 (小松市東部産業振興団地)	TEL. 0761-47-4778 FAX. 0761-47-4544
東 北 支 店	〒984-0011 宮城県仙台市若林区六丁の目西町1-18	TEL. 022-288-6000 FAX. 022-288-0800			

札 幌 営 業 所	〒003-0871 北海道札幌市白石区米里一条3-1-1	TEL. 011-871-7441 FAX. 011-871-7446	静 岡 営 業 所	〒422-8066 静岡県静岡市駿河区泉町9-14 ウェル・プレミアード1F	TEL. 054-280-7700 FAX. 054-280-7701
青 森 営 業 所	〒038-0003 青森県青森市大字石江字江渡117-18	TEL. 017-782-7242 FAX. 017-766-4810	名古屋営業所	〒456-0013 愛知県名古屋市長久区外土居町9-14 トキワ外土居ビル305	TEL. 052-683-4601 FAX. 052-683-4602
八 戸 出 張 所	〒031-0081 青森県八戸市柏崎1-19-1	TEL. 0178-45-8734 FAX. 0178-44-2801	北 陸 営 業 所	〒920-0343 石川県金沢市畝田中3-556	TEL. 076-266-1981 FAX. 076-266-1977
秋 田 営 業 所	〒010-0802 秋田県秋田市外旭川字三後田207	TEL. 018-868-3531 FAX. 018-868-3541	福 井 出 張 所	〒910-0854 福井県福井市御幸1-19-25 澤崎ビル1F	TEL. 0776-26-3562 FAX. 0776-22-1086
盛 岡 営 業 所	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮3-45-5	TEL. 019-635-3521 FAX. 019-635-3571	京 都 営 業 所	〒602-8151 京都府京都市上京区智恵光院通丸太町上ル西院町747-32	TEL. 075-801-3388 FAX. 075-801-3380
山 形 営 業 所	〒990-2477 山形県山形市長苗代56-1	TEL. 023-645-6347 FAX. 023-645-7524	大 阪 営 業 所	〒550-0003 大阪府大阪市西区京町堀1-12-20	TEL. 06-6445-1011 FAX. 06-6445-1012
仙 台 営 業 所	〒984-0011 宮城県仙台市若林区六丁の目西町1-18	TEL. 022-288-6000 FAX. 022-288-0800	神 戸 営 業 所	〒651-0087 兵庫県神戸市中央区御幸通2-1-4	TEL. 078-251-2395 FAX. 078-251-2703
郡 山 営 業 所	〒963-8835 福島県郡山市小原田3-2-5	TEL. 024-941-3501 FAX. 024-943-3515	岡 山 営 業 所	〒700-0975 岡山県岡山市北区今5-13-36 2F	TEL. 086-246-0431 FAX. 086-246-0437
北関東営業所	〒330-0841 埼玉県さいたま市大宮区東町1-54 雄飛堂ビル4F	TEL. 048-646-0515 FAX. 048-645-8579	広 島 営 業 所	〒732-0067 広島県広島市東区牛田旭2-6-24 2F	TEL. 082-228-5344 FAX. 082-221-9846
宇都宮出張所	〒320-0072 栃木県宇都宮市若草4-10-10-103	TEL. 028-305-5273 FAX. 028-624-0403	四 国 営 業 所	〒760-0073 香川県高松市栗林町2-16-14 三好ビル パークヒルズ1F	TEL. 087-862-9777 FAX. 087-862-9818
前 橋 出 張 所	〒371-0842 群馬県前橋市下石倉町23-12 ケベビル102	TEL. 027-898-2690 FAX. 027-254-3100	福 岡 営 業 所	〒810-0074 福岡県福岡市中央区大手門1-5-8 アークビル大手門2F	TEL. 092-739-7760 FAX. 092-739-7761
茨 城 営 業 所	〒305-0821 茨城県つくば市春日4-5-7 1F	TEL. 029-852-0780 FAX. 029-852-0881	北九州出張所	〒802-0085 福岡県北九州市小倉北区吉野町5-20-101	TEL. 093-921-6602 FAX. 093-921-6604
千 葉 営 業 所	〒260-0022 千葉県千葉市中央区神明町13-1 神明ビル	TEL. 043-242-7502 FAX. 043-246-2891	長 崎 営 業 所	〒850-0004 長崎県長崎市下西山町13-31 奥園ビル1F	TEL. 095-832-6767 FAX. 095-832-6768
東 京 営 業 所	〒110-0015 東京都台東区東上野3-35-9 本池田ビル	TEL. 03-3839-1500 FAX. 03-3839-1611	大 分 営 業 所	〒870-0822 大分県大分市大道町5-2-25 伊藤ビル3F	TEL. 097-573-5280 FAX. 097-573-5288
横 浜 営 業 所	〒221-0822 神奈川県横浜市中区西神奈川11-7-2 5F	TEL. 045-322-1744 FAX. 045-324-1472	熊 本 営 業 所	〒861-8035 熊本県熊本市東区御領2-28-14 大森ビル御領201	TEL. 096-349-7231 FAX. 096-349-7232
新 潟 営 業 所	〒950-0913 新潟県新潟市中央区鏡3-12-37	TEL. 025-241-4602 FAX. 025-241-9662	宮 崎 営 業 所	〒880-0916 宮崎県宮崎市大字恒久5027 ルネッサンスコーポ1F	TEL. 0985-50-2205 FAX. 0985-50-2206
長 岡 出 張 所	〒940-2121 新潟県長岡市喜多町1050-5 丸山ビル2F	TEL. 0258-28-3695 FAX. 0258-28-3288	鹿 児 島 営 業 所	〒890-0061 鹿児島県鹿児島市天保山町15-25 天保山ビル101	TEL. 099-214-3804 FAX. 099-214-3805
長 野 営 業 所	〒380-0903 長野県長野市鶴賀54-4 エルシービル	TEL. 026-227-7450 FAX. 026-227-8731	沖 縄 営 業 所	〒901-2103 沖縄県浦添市仲間1-30-9 1-C	TEL. 098-874-4350 FAX. 098-874-4340
長野中信出張所	〒399-0746 長野県塩尻市大門並木町8-17 小野ビル	TEL. 0263-53-4150 FAX. 0263-53-4151			

クマリフトホームページアドレス

<https://www.kumalift.co.jp/>



0120-07-0570 (9時～17時 土・日・祝を除く)

上記の所在地・電話番号は変更する場合があります。
ホームページ等で情報をご確認の上、ご連絡ください。
製品の仕様等、掲載の内容は予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

クマリフトは、昇降機メーカーとして幅広い分野にわたり、省力化・合理化に貢献しています。
●人荷・荷物用エレベーター ●小荷物専用昇降機 ●段差解消機 など

クマリフトは、品質保証に関する
ISO(国際標準化機構9000シリーズ)
認証取得昇降機メーカーです。



ISO認証制度
お客様の立場に立った品質マネジメントシステムをISO(国際標準化機構)が制定したもので、ISO9001は「昇降機の設計、開発、製造、据付および付帯サービス」において、ISO規定要求事項の全項目に適合していることを認証機関で得るものです。

23.115,000-7